



視察、調査に基づき論戦を展開 障害者雇用、自殺予防策…etc

質問

年間三万人超の自殺者数
予防対策の強化が急務!



一九九八年以来、年間の自殺者数が十一年連続して3万人を超えている。本県も〇八年の自殺者は一六五三人で、交通事故死者数の約七倍。今年、国の補正予算で自殺対策の基金が本県に約三億六千万円配分されるが、対策強化の大きなチャンスだ。また、自殺予防のための電話相談をボランティアで実施している「いのちの電話」を視察したが、本当に頭が下がる活動をしておられる。

そこで、①社会全体で自殺を予防するためのキャンペーン運動を行ってはどうか②対策実施にあたっては、いのちの電話をはじめとする関係団体の意見を聞き、生かしていくべき③うつ病治療は投薬が中心で、原因となる多重債務や人間関係まで医師は解決できない。医療と他の分野の連携が必要だが、どう取り組むのか④自死遺族へのケアにどう取り組むのか、伺う。



①事態を重く受け止めていく。街頭キャンペーン箇所を増やしていく。

答

(保健医療部長) ②関係団体の意見をよく聞き、実態に即した対策を進める③関係者による協議会の意見を聞き、連携を図った施策を進める。市町村にも連携した取り組みを働きかけていく④県精神医療センターでの相談や自助グループへの支援などでケアに努めていく。

本県でも
交通事故死の
7倍!!



- ・ 予防キャンペーン
- ・ 関係団体からの意見
- ・ 医療分野以外の解決
- ・ 遺族のケア

質問

柳瀬川最上流部の水量確保



柳瀬川最上流部の再生に、水量確保は不可欠であるが、狭山湖からの放水は現状では困難。ミヤコタナゴの生息環境を整える事業は始まったが、今後、水量確保をどう進めるのか。



今、できることとして北側の湧水を導入する方法を進めている。



質問

国職員の人件費まで含む
直轄事業負担金への対応



国の言い値で県が支払ってきた直轄事業負担金が大問題となっている。工事費以外に、業務取扱費という名目で人件費等が盛り込まれていることをいつ知り、どう考えるか。また、工事費の妥当性をどうチェックしていくのか。



今年の四月以降に実態を知った。事業と直接関係のない経費の負担は外すべきだ。全国知事会で対象範囲の基準を検討中で、歩調を合わせていく。今までは、八ッ場ダム以外は工事費の妥当性をチェックしていなかった。今後は可能な限りチェックすべきと考える。



所沢駅西口前の県道が安全で 歩きやすく改修されました



所沢駅西口駅前を南北に通る県道所沢久米線の東住吉交差点までが安全で歩きやすい道路に改修されました。ここは、車・歩行者ともに交通量の多い通りですが、道幅が狭く、歩道がわりの側溝も凸凹で、危険な状態だった区間です。

今回、路面は水が溜まりにくく低騒音の排水性舗装になり、側溝も全面的に改修され、大変歩きやすくなりました。この改修については、地元の東住吉自治会の皆様が熱心に取り組み、私も県とのパイプ役としてお手伝いをさせていただいたものです。

